鉄道員（1956）

IL FERROVIERE

メディア	映画
ジャンル	ドラマ
製作国	イタリア
色彩	B&W
時間	115分
初公開日	1958/10/18
公開情報	イタリフィルム＝ＮＣＣ
映倫	G
リバイバル	1973/06［ＮＣＣ］

【キャッチコピー】
パパ、ボクと一緒にお家へ帰ろう……（リバイバル時）

【解説】
第２次世界大戦後のイタリアに生きる庶民の人生の歓びや哀しみを、ある一人の初老の鉄道機関士の姿を通して描いた、映画史に残る感動作。５０歳のクリスマスを迎えたイタリアの鉄道機関士アンドレア・マルコッチは、末っ子のサンドロから英雄のように慕われていたが、長女のジュリアと長男のマルチェロからは、その厳格さや律儀で一徹な態度から敬遠されていた。しかしそんな彼らもやさしく献身的な母サーラがいるおかげで毎日平穏に暮らしていた。そんなある日、娘の流産や息子の不良化に気を病んでいたアンドレアが列車を運転していた所、彼の前に一人の若者が身を投げた。急いでブレーキをかけたアンドレアだったが、間に合わずにその青年を轢いてしまう……。いたいけな少年サンドロの純真な眼を通して、親子の愛情や夫婦の愛、そしてイタリアの地に生きる庶民たちの喜怒哀楽を、全編に流れる温かい人間愛で描いた映画史に残る名編。

【クレジット】

監督	ピエトロ・ジェルミ	Pietro Germi	
製作	カルロ・ポンティ	Carlo Ponti	
脚本	アルフレード・ジャンネッティ	Alfredo Gionotti	
	ピエトロ・ジェルミ	Pietro Germi	
	ルチアーノ・ヴィンチェンツォーニ	Luciano Vincenzoni	
撮影	レオニーダ・バルボーニ	Leonida Barboni	
音楽	カルロ・ルスティケリ	Carlo Rustichelli	
出演	ピエトロ・ジェルミ	Pietro Germi	アンドレア・マルコッチ
	エドアルド・ネヴォラ	Edoardo Nevola	サンドロ
	ルイザ・デラ・ノーチェ	Luisa Della Noce	サーラ
	シルヴァ・コシナ	Sylva Koscina	ジュリア
	サロ・ウルツィ	Saro Urzi	リヴェラーニ
	カルロ・ジュフレ	Carlo Giuffre	レナート
	レナート・スペツィアリ	Renato Speziali	マルチェロ

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.